

例会報告：2015年7月14日（曇り） 第1896回 通常例会

◆ ビジター

井上 勝典様（足柄RC）
勝又 辰美様（足柄RC）
鈴木 信行様（足柄RC）

◆ 会員誕生日

石坂 弘之さん（7月3日）
河野 秀雄さん（7月5日）



◆ ニコニコ箱

櫻井 康二 委員長

| | ニコニコ箱 | 累計 | 目標 |
|--------|--------|--------|-----------|
| 7月14日分 | 17,000 | 72,000 | 1,300,000 |

* ビジター

井上 勝典・勝又 辰美・鈴木 信行様…3名でお世話になります。

* 会員誕生日

河野 秀雄さん…①誕生祝感謝いたします。ありがとう。
②足柄RCの勝又さん、井上さん、鈴木さん、心から感謝いたします。

石坂 弘之さん…誕生日をお祝いいただき、ありがとうございます。

* その他

清 康夫さん…①先週11日の土曜日、（株）フジミ社員52名の参加にて6月決算販売会議をフォーラム246の研修センターで行い、売上利益も向上したとの発表もありました。今年が創業50年になりますので、私が講師として会社の歴史や苦労話を1時間ほどいたしました。タイトルは「日々努力をして開拓」

4時30分よりパーティーを行い、社員の明るい笑顔に満足いたしました。②この17日より、岩手県盛岡より40キロ、秋田よりの山奥へ4日間溪流にてヤマメ釣りに行って来ます。熊が沢山いるので注意して無事帰って来ます。

小嶋 章司さん…①足柄RCの井上さん、勝又さん、鈴木さんようこそ！②諏訪間亮君おかえりなさい。

志澤 昌彦さん…亮君お帰りなさい。1年間よくがんばったな！！

■ ■ 今後のメーキャップ情報 ■ ■

-2015年7月-

- ▶22日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「ガバナー公式訪問1週間前（クラブ協議会）」
- ▶23日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話:プロテニスプレイヤー沢松和子様/今テニスが熱い」
- ▶24日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「卓話:会員による卓話」
- ▶24日(金) 足柄 おんりーゆ〜 12:30
「卓話:クラブ研修委員会」
- ▶27日(月) 小田原
- ▶28日(火) 箱根
- ▶29日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「ガバナー公式訪問」
- ▶30日(木) 小田原中 報徳会館 17:30
「卓話:クラブフォーラム/会員増強セミナー報告・財団セミナー報告」
- ▶31日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「卓話:会員による卓話」
- ▶31日(金) 足柄 移動例会（家族親睦納涼例会）
開催場所:アサヒビール園神奈川足柄店
開催時間:18:00~(予定)

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：<http://www.odawarajhrc.jp>
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例会：毎週火曜日 12:30~13:30
クラブ会報委員会
監修：柳井 渉
編集長：小林 和彦
コピーライター：大川 誠
デザイン：小林 和彦
フィールド：大川 久弥・杉本 博愛

会員数：46名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2015-2016
WEEKLY BULLETIN



世界へのプレゼントになろう

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

本日の例会：通常例会（第1897回）

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2015年7月21日 12:30~13:30
司会：須藤 公司 副幹事

| | |
|-------|---|
| 12:30 | 開会点鐘：木村 頼弘 会長 ロータリーソング斉唱 「我等の生業」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告/出席報告/委員会報告 同好会報告/ニコニコ箱 |
| 13:00 | 担当：小川国際奉仕委員長 卓話：本多会員・中村会員/モンゴル報告 |
| 13:30 | 閉会点鐘：木村 頼弘 会長 |

寄稿

- ・ロータリーとは、社会が必要とする事を自ら探求し奉仕する
- ・ビジネスは、すべて社会に尽くす手段でなければならない
- ・例会は人生の道場である（米山梅吉）
- ・職業を通じて社会に奉仕する（職業奉仕）
- ・例会は、楽しさ（親睦）と有意義（研鑽）が求められている
- ・ロータリーの目的の本質は、個人による奉仕の理想の実践と責任の受諾である
- ・出席は会員としての最大の義務であり権利で、少なくとも最小限の奉仕である
- ・地球に陽の沈む時はあっても、ロータリーの例会のない時間はない
- ・ロータリーの本質は、親睦の中から奉仕の理想を生み出す集団である
- ・新会員推薦は、全会員一人々の義務であり権利である



楽しさと感動を呼ぶ一年にしよう

【今後の例会・卓話スケジュール】

7月28日（火）通常例会 12:30
「卓話：クラブフォーラム（会員増強）」

8月4日（火）通常例会 12:30
「卓話：未定」

8月11日（火）納涼例会「沖縄を感じよう！」
会場：ヒルトン小田原
受付：17:00~17:30
例会：17:30~17:50
宴会：18:00~20:30
会費：R会員 10,000円/R家族 7,000円
Rアクト 7,000円

8月18日（火）休会

8月25日（火）通常例会 12:30
「卓話：クラブフォーラム（国際奉仕）」

- ・ニーズのない所に奉仕の実践はない
- ・ロータリーは人類文化史が20世紀の時代に刻印を打った職業人の最も優れた倫理運動である
- ・相手を許すだけの寛容を持つ事は、失われた物よりもっと大切なものを勝ち取る結果を生むものである
- ・1987~88年度国際ロータリー会長チャールズ・ケラー氏奉仕の理想は人々をつなぐ真の絆です。奉仕とは単に良い事をするだけでなく、人々の役に立つ事です。世界では人々が異なる言語を話し、異なる食事をし、異なる服を着て、異なる宗教を信仰しています。こうした人々を結びつけるには強力な絆が必要です。ロータリーではその絆が超我の奉仕という理想なのです

河野 秀雄



RAC
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！

会場：小田原卸センター内会議室
 日時：2015年7月14日 12：30～13：30

❖ 会長挨拶



「国旗について」

木村 頼弘 会長

先週の年初例会皆様のお蔭をもって無事に終わりました事とお礼申し上げます。今日は私が入会した当時から、今もそうですがずっと気になっていた事をお話したいと思います。それは、後ろに掲げ

てある「国旗」の事です。なぜ、日本の国旗が真ん中にあるのか、ずっと不思議でなりません。

殆どのRCや地区の行事でも、同じように旗が3つある場合「国旗」は中央ではなく、左側に掲げてあります。ロータリーの長い歴史の中で、誰が決めたのか、どのような申し合わせがあったのかは判りませんが、やはり「国旗」が中央にないのは日本人として、おかしいのではないかとずっと感じておりました。

日本には「国旗及び国歌に関する法律」すなわち「国旗国歌法」というものがあります。これは1999年に施行された（法律）です。

また、国際儀礼（プロトコル）における「国旗掲揚の基本原則」というものがあります。これによると、国旗と団体旗の併揚は厳に慎むべきであるが、国旗を他の団体旗や組織の旗と併用して掲げる場合は、優先順位は中央・左側・右側の順に掲げるという基本原則があります。ですから、当然「国旗」が中央に来なければなりません。

また細かい事をいえば、原則「国旗」は横長で掲揚し、他の団体旗より大きく、また高く掲揚しなければならないという、細かい規則があります。

しかし、オリンピックなどの表彰式などは縦長に掲げてありますが、その時も上部に旗竿を付けて、配置するという決まりがあります。

どちらにしても、国旗の大きさとか、縦長に掲げるとい事は多少は大目に見る事は出来ますが、やはり、日本の「国旗」が真ん中に無いのは、どうも納得がいきません。

「国旗」は国家や我々日本人の象徴です、国を象徴するものとして尊重し敬意を払い、基本に沿って掲げるとい事は国際社会の常識であり、国際的なマナーだと言われています。後ろに掲げている国旗も少し汚れも目立ってきてます、傷んでいる箇所もあるかも知れません。

たまには、洗濯した方が良いのかなと思っております。ちなみにガバナ－事務局に問い合わせた所、特に決まりは無く、各クラブの取り決めで構わないそうです。

長年、ここに居ると、国旗の事など大して気にならない事だと思っておりますが、これを機会に皆さんも「国旗」の在り方について考えるのも良い機会ではないかと思っております。

❖ 幹事報告



柳井 渉 幹事

- 1)会費納入のお知らせをポストに入れていただきました。
- 2)納涼家族例会の案内をポストに入れていただきました。
- 3)相馬市より「東日本大震災の記録第5回中間報告」が届きました。
- 4) ボーイスカウト小田原支部から活動報告書が届きました。
- 5) 相模原グリーンRCより「私の職業倫理観」「企業理念・経営方針・モットー集」が届いています。
- 6) 米山記念奨学会から寄付累計が4000万円になり表彰額に達成しました。
- 7) NPO法人かものはしプロジェクトより卓話の依頼が来ています。
- 8) ロータリーの友事務所よりロータリーの友電子版の案内が来ています。
- 9) 活動計画書の訂正は時間をいただき訂正させていただきます。

❖ 出席報告

阿久津 馨 委員

| 出席報告 | 会員数 | 出席 | M.U | 出席率 |
|-------|--------|----|-----|--------|
| 7月14日 | 46(42) | 34 | 2 | 85.71% |
| 7月7日 | 46(45) | 43 | 0 | 95.56% |
| 6月30日 | 48(45) | 36 | 1 | 82.22% |

【欠席者】8名
 白井 真一、仲 徳子、太田 忠、内山 修一、
 菊地 義雄、西 寛、木村 啓滋、大川 誠

【今回MU】2名
 白井 真一（7/10 足柄RC）
 仲 徳子（7/10 足柄RC）

【前回MU】増加なし
 【前々回MU】増加なし

❖ 委員会報告

親睦活動委員会・上田委員長

来週の鈴木さん歓迎会は18時よりおしゃれ横丁えんで行きます。奮ってご参加ください。納涼家族例会は8/11にヒルトン小田原で開催いたします。16：30に小田原駅からバスを出しますのでお乗り遅れないようお願いいたします。会長は一人でも多くの家族を呼びたいと希望しておりますので是非ご参加ください。

雑誌広報渉外委員会・金山委員長

今日の会報メモ欄のところに「ロータリーの友・電子版について」が書いてあります。2013年の規定審議会で電子版と普通の本を選択できるようになりました。日本ではしばらく並行して進むようです。是非ご利用ください。

❖ 卓話

「ロシア留学について」



青少年派遣学生・諏訪 亮 様

こんにちは。2014-5年度国際ロータリー青少年派遣学生・ロシア派遣生の諏訪亮です。今日はロシアに1年間行ってきて感じたことをお話したいと思っています。

私が行ったマガダン市はロシアの中で極東地域のかかり北に位置する町です。北海道から北へ約2000km。冬はマイナス30℃になり、海に面している湿度が高くて風が強くて暮らすには厳しいところです。マガダン市にはシベリア抑留日本人が建てた建物も残っていました。ロシア極東シベリア地域全体に言えることですが、日本車や日本製品がかなり出回っています。マガダン市では95%くらいが日本の中古車で、右ハンドルで車内表示も日本語でした。ロシアは車が右側通行ですのでちょっと危ない印象がありました。

ロシアの学校は日本のように小中高校と分かれておらず、小学1年から高校3年にあたる子どもたちが1年から11年生という形で1つの学校で学んでいます。その中で私は11年生としてロシアの学生と一緒に勉強しました。その学校には他にもロータリーの派遣学生としてブラジル・ドイツ・フランスからの交換学生も来ていました。ほとんど毎日一緒に過ごすことが多かったため、ロシアの文化だけでなく各国の文化も互い吸収することができました。ロシア語は日本人にとって馴染みがなく、アルファベットも英語とは異なりますし、最初は不安でした。ロシア人は英語も伝わらず、2ヶ月くらいは全然分かりませんでした。しかしロシア語圏で生活していれば徐々に進歩するものです。3か月くらいで日常会話を何となく理解できるようになり、ホストファミリーとの会話も伝わるようになりました。そこからは上り調子でロシア語も上達し、留学生同士でも英会話が禁止されたのでロシア語で会話するようになっていました。私は2つのホストファミリーにお世話になりました。最初のホストファミリーは、ホストブラザーが3年前に2780地区へ留学したということで日本語も話せてとても助かりました。2番目のホストファミリーはホストブラザー・シスターが同じ年にロータリーで留学していました。彼らは米国と台湾に留学中でほとんど会えませんでしたが、ホストファーザー・マザーには良くしていただきました。ロシア語を細かく教えてくださったことで成長できたと思います。

マガダン市の生活だけでなく、4月には2225地区でロシア全体の交換学生が集まるビッグトリップへ行ってきました。飛行機で8時間かけてモスクワとサンクトペテルブルクに行きました。モスクワは極東のマガダンとはずいぶん違って、車もドイツ車が多くヨーロッパ地域の香りがしました。また、サンクトペテルブルクに行った時には歴史ある建物がとてもきれいで感動しました。姉がフランス留学中に現地へ訪れたことがあるのですが、その時のパリよりキレイだという印象を受けました。ゴミが少なく雰囲気が良くてすてきな所です。極東のイメージは「寒い」「熊がいる」といったものしか浮かばないかもしれませんが、マガダン市は歴史とモダンを兼ね備えた魅力的な町です。

スターリン時代には反体制派の抑留者が多く「嘆きの像」というモニュメントが建っていて、世界中の言葉での「愛している」が刻まれています。

非常に感慨深いものでした。ウラジオストクにも子どもキャンプのスタッフとして行きました。子どもたちと仲良くなり、日本の文化を紹介することもできて良い経験になりました。ウラジオストクではロータリーの方の親戚宅へ泊らせていただきました。中国や北朝鮮に近い町で、北朝鮮の方を見かけることもありました。

ロシアのロータリークラブについて。ロシアは日本や米国のようにロータリーの活動が盛んではありません。マガダンで「ロータリークラブで留学した」と言ってもほとんどの人が知らないようでした。ソ連時代は無かったものなので、知名度はまだ低く浸透していません。地区はロシアに2つしかなく、1つの地区が米国全土くらい広さです。学生は1つの地区に10人ほどしかいないので、ビッグトリップで初めて会う人ばかりでした。クラブ数は50くらいでかなり少ないです。モスクワには留学生がいなくてマガダンは4人受け入れているのも不思議でした。マガダンは交換留学に積極的な町でしたが、ロシアのRCは発展途上なのかなと感じました。

私は最初スウェーデンを希望していました。英語圏以外に行きたいという思いが強かったので、ロシアも第3希望でした。英語はもちろん大切ですが、他の言語に興味がありましたし、日本人にあまり馴染みのない国に行ってみたくかったです。ロシアは基本親日派の方が多いです。日本への関心が高く日本語を学んでいる方もいて、市民感情として印象が良いのではないのでしょうか。ホストファミリーと一緒に掛けたら食事したりするのは少ないですが、海外にもう1つの家族ができるというのは有り難いことです。ロシアの食事は少し脂っこいかもしれませんが、でもスープ類がおいしく、自分で作ることも多かったためあまり不自由は感じませんでした。留学するまで18年間日本で生きてきて日本中心で世界を見ていましたが、外へ出て日本を客観的に見る事ができた点はとても良かったです。そういう風に見える日本は凄いなと感じました。街の清潔さ、テクノロジーの進歩、人の親切さ、マナーなどは素晴らしいと思います。将来については具体的な仕事は決めていませんが、9月からウラジオストクにある極東連邦大学へ進学することになりました。国際関係学を学ぶ予定で、日本とロシアを繋げるような役割を担えたらと願っています。今年からロシア派遣が無くなってしまったのは残念です。またどこかの機会に復活してくれることを望んでいます。ロータリークラブにサポートしていただいていたように素晴らしい経験ができたことを心から感謝しています。ありがとうございました。

